令和8年度　指定管理者総合評価表（評価対象年度：R7年度）

令和7年度事業に係る事業報告書等に基づき、指定管理者による管理運営状況について確認、検証した結果、下記のとおり評価しました。

施設名	津市久居アルスプラザ
指定管理者	株式会社ケイミックスパブリックビジネス
指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日
施設の設置目的	本市における文化芸術の振興を図り、もって地域の再生及び活性化に資するため、津市久居アルスプラザを設置する。
指定管理者の業務	文化芸術事業の企画及び実施に関する業務 津市久居アルスプラザの使用の許可に関する業務 津市久居アルスプラザの施設、設備器具等の維持管理に関する業務
評価担当部課 （問い合わせ先）	スポーツ文化振興部文化振興課文化ホール施設担当 （電話059－229－3202）

評価は◎非常に良い、〇良い、△やや悪い、×悪いの4段階です

区分	評価項目	検証結果	評価結果
管理状況について	適正な人員配置（効率的かつ効果的に管理運営ができる適正な人員配置、勤務体制であるか）	・事業計画書の提案内容に基づき人員体制を整え、1ヶ月ごとの勤務シフトで効率的な人員配置で運営している。 ・有資格者の必要な業務については、第三者委託等により適切に人員配置を行い業務を執行している。	〇
	従事者の教育・研修（職員の専門知識・技能習得やホスピタリティ向上等、高水準のサービス提供を目的とした研修体制となっているか）	・事業計画書の提案内容に基づき、各職員に「人権研修」「危機管理研修」「個人情報保護研修」等様々な研修を受講させている。 ・職員の専門スキル向上を目的として個別サービスアップ研修を受講している。 ・職員のホスピタリティ向上を目的として接遇マナー研修を受講している。	〇
	関係法令等の遵守（関係法令遵守をはじめ、コンプライアンスは徹底されているか）	・施設の管理運営に必要となる関係法令等（地方自治法、労働基準法、久居アルスプラザの設置及び管理に関する条例等）の遵守について従事職員に周知している。また、関係法令を常時閲覧できるようファイルに保管し、その都度確認をしている。 ・コンプライアンス規程、リスク管理規程、内部監査規程等の社内規程を整備して、教育・研修体制、通報・相談窓口、リスク発生時の手続き、独立した内部監査体制等の各種体制や手続きを定めており、コンプライアンスやリスク管理に係る適切な取組みが行われている。	◎
	個人情報保護（個人情報保護のための対策は適切に実施されているか）	・個人情報を適切に管理するため、個人情報保護規程やマニュアルの作成や毎年の個人情報保護研修の実施等、個人情報マネジメントシステムに基づく運用を行っている。また、個人情報保護体制の基準への適合性を評価する第三者認証制度であるプライバシーマークを取得している。 ・施設利用者やチケット購入者等に対して個人情報の取扱いに関する書面の提示や説明を適切に行っている。 ・上記の取組に加え、個人情報漏洩対応保険への加入等の対策を実施している。	◎

評価は◎非常に良い、〇良い、△やや悪い、×悪いの4段階です

区分	評価項目	検証結果	評価結果
	施設・設備・備品の維持管理及び安全管理①（備品等の管理は適切に行われているか）	・備品台帳を整備し、随時更新を行っている。 ・利用者の要望等を踏まえ、サービス向上を目的とした備品の調達（キッズスペース用備品、Wi-Fi機器の追加購入等）や破損・故障した備品の修理等を実施する等、適切な管理を行っている。	◎
	施設・設備・備品の維持管理及び安全管理②（施設・設備の維持管理や安全管理は適切に行われているか）	・保守点検業務の再委託にあたっては、単に価格だけでなく第１期指定管理期間の実績等を勘案の上、再委託先を選択し、事前に津市から承認を受けて契約を行っており適切性を担保している。また、管理日誌により適切な業務履行の確認を行っている。 ・施設・設備に故障、不具合が生じた場合や危険箇所と判断される場所が判明した際は、速やかに適切な修繕等の対応を行っている。 ・日常的な施設巡回警備の実施及び機械警備システムの導入により24時間365日の保安警備体制を構築している。	〇
	業務改善の取組（施設の管理運営に係る業務改善に向けた取組を行っているか）	・日常的な利用者からの意見のほか、利用者意見交換会やサービス向上委員会といった定期的な意見収集の場を設けて「収集⇒検討⇒改善⇒検証」のサイクルによる業務改善の体制を構築している。 ・令和7年度においても、これらの過程で挙げられた意見等を踏まえた対応・改善策に取り組んでいる。	〇
	環境への配慮（環境負荷の低減に向けた取組が行われているか）	・ISO14001の認証を取得し、環境対策を導入して環境コストの低減を図っている。 ・印刷用紙やトイレットペーパー等の消耗品類を中心に環境に配慮した製品購入の取組を行っている。 ・省エネルギー対策として、電力デマンド監視装置設置、諸室の温度設定調整、ブラインド使用、消灯等、光熱数費縮減の取組を継続して実施している。 ・廃棄物削減の取組として、ごみの持ち帰りルールや有料ごみ改修サービスの実施のほか、業務におけるペーパーレス化等の対策を行っている。	〇
	緊急時等に備えた危機管理対応（火災、自然災害、事故等の緊急事態発生時に迅速に対応できるよう準備や体制は整えられているか）	・災害や事故等の緊急時における危機管理体制として、各種対応マニュアルの整備を行っている。 ・年2回消防訓練を実施している。（通報、避難、初期消火、AED取扱い） ・消防法に基づき防火管理者選任、消防計画提出等の手続きを行っている。各種点検（消防用設備点検、防火対象物点検）についても実施しているが、報告が義務付けられている管轄消防署への提出が行われていなかった。（現在は提出済み） ・安全衛生に関する活動を通じて、職場内の安全衛生の啓発・推進を図っている。また、事故防止の対応として、不具合箇所の適切な修繕対応や注意喚起表示の設置を行っている。	△
	報告書等の整理及び提出（各報告書が適切に整理され、協定書に基づく提出がなされているか）	・事業計画書、月次事業報告書、年度事業報告書の提出については、全て協定書等に基づく内容や期限での提出が行われた。 ・各報告書、計画書について、協定書等に示された事項が記載されている。	〇

評価は◎非常に良い、〇良い、△やや悪い、×悪いの4段階です

区分	評価項目	検証結果	評価結果
運営状況について	利用状況（要求水準書に示された目標水準（利用率、利用者数、来館者数）を達成しているか）	いずれも要求水準書における目標値を大きく上回る結果となった。 ・貸館施設全体の平均年間利用率は目標75%に対して実績は88．1%であった。 ・年間利用者数は、目標110，000人に対して実績は129，979人であった。 ・年間来館者数は、目標200，000人に対して実績は292，937人であった。	◎
	利用者満足度の向上①（利用者から高い満足度を得られているか）	・第三者顧客満足度調査によるアンケートから、総合的な満足度として、「満足」または「やや満足」を選択した回答は貸館事業は約98．3%、企画提案事業は約97．3%という結果となった。 ・すべての貸館利用者に記入をお願いしている利用報告書における、「施設利用に関する評価欄」での満足度に関する調査結果は、「とても満足」または「満足」を選択した回答は約96．6%となった。	◎
	利用者満足度の向上②（利用者や来館者の誰もが快適に施設を利用できるようサービス向上の取組が実施されているか）	・サービス介助士の配置や筆談ボードの設置等の従前からの取組に加えて、新たに多言語翻訳機の設置、キッズスペースの設置、一部の企画提案事業における託児サービスの実施等、誰もが不自由なく施設を利用できる環境作りに取り組んでいる。 ・平等・公平な施設利用への取組としては、施設の貸館に関して毎月適切に施設利用抽選会を実施している。	◎
	地域や他の文化施設等との連携（地域の住民や関係団体等との連携・協働、他の文化施設等との連携が図られているか）	・地域の商店街や団体との連携事業として、毎年恒例となったマルシェイベントを実施したほか、商店街の店舗や人々を紹介する冊子を制作するプロジェクト、地元の久居八幡宮の貴重な所蔵品の展覧会等、新たな地域連携の事業を創出して実施している。また、学校や施設へのアウトリーチ事業の実施、市内小中学校の職場体験や施設見学の受入等、教育機関等との関わりも積極的に取り組んでいる。 ・市民参加の促進策として、市民ボランティア「ときの風サポーター」制度を第1期指定管理期間から継続しており、運営を支える担い手として主体的に関わる機会を創出している。また、アルススーパーブラスをはじめ、新たな幅広い市民参加型の事業にも取り組んでいる。 ・第2期指定管理期間から新設した地域文化ホール活用事業において、他の文化施設や地域団体等と連携した取組を更に充実させている。	◎
	利用者の苦情、要望等の対応（地域や利用者から寄せられる要望や相談、苦情等に対して真摯に対応し、必要な改善やアドバイス等が行われているか）	・受付カウンターへ設置したご意見箱、公式ホームページからの問い合わせ受付、各種アンケートの配付・収集等を通じて利用者からの苦情・要望等を幅広く拾い上げられる環境を構築している。 ・寄せられた意見や要望に対して、一つ一つ検討を行い、可能なものについては速やかに対応を行っている。苦情等に対して、運用上やむを得ない内容のものについても丁寧に説明して理解を求める等の対応を行っている。 ・寄せられた意見等と対応結果については、一覧に取りまとめて記録・保管している。 ・貸館の利用を検討する人からの相談に対して、丁寧にヒアリングを行い、より効果的な利用方法等を提案する等、積極的な対応を行っている。	◎

評価は◎非常に良い、〇良い、△やや悪い、×悪いの4段階です

区分	評価項目	検証結果	評価結果
	情報発信（施設の利用促進やPR、市民の文化芸術意識向上等に向けて、積極的かつ効果的な情報発信が行われているか）	・利用者への情報提供については、パンフレットや利用の手引きの案内のほか、公式ホームページ、SNS、企画提案事業チラシ等の様々な方法・媒体により行っている。 ・公式ホームページでのお知らせ、Instagram、Facebook、Xの各種SNSへの投稿、新聞・雑誌等への広告・記事掲載等、様々な手段により効果的なタイミングで情報発信を行っている。特にSNSについては、積極的に活用して数多く記事投稿を行っており、フォロワー数を大幅に増加させている。（例：Instagramは約1年間で約180件の投稿、1，000人以上のフォロワー数の増） ・公式ホームページ及びSNSへの実施レポート掲載や年4回の季刊誌「アルスの風」の発行、事業の経過や内容を記録したリーフレット作成等、各事業の実施後においても、様々な媒体により積極的な実施内容・成果の発信に努めている。 ・情報ラウンジにおいて、文化芸術や地域に関連する書籍を配置している。また、ポスター・チラシコーナーを設けて、他の文化施設、周辺地域や団体等の情報について随時提供を行っている。	◎
	カフェの運営（販売促進や賑わい創出、地域還元の取組が行われているか）	・仕入れ先として地元業者との取引を継続する等、地域の活性化に努めている。 ・従業員6名中5名が津市民であり地元雇用に努めている。 ・施設利用者の利便性向上のためのコーヒーポットサービスを継続して実施しているほか、新規メニューの提供を行い、販売促進やサービス向上に努めている。 ・懇話会での提案をもとに、企画提案事業の一つをカフェを会場とした親子向けの企画（つつみあれいさんとおおきなまどにえをかこう！）として開催する等、賑わいづくりの場としての活用を積極的に行った。	◎
自主事業（企画提案事業）について	創造事業（津市の特性を活かした作品制作や実演芸術公演が行われると共に、市民が参加・参画できる機会が創出されているか）	・アーティストインレジデンス事業「勢州久居 ARTRISE」では、招聘アーティストによる地域リサーチの結果、三重の豊かさの源泉を「水の恵み」と捉え、市内及び県内に水を司る龍に関わる逸話や伝承が多く残っていることに着目して、龍の鱗をモチーフとした作品制作を行う等、津市を含む地域独自の要素を取り入れた事業が実施されている。また、作品制作・展示だけではなく、地域交流イベントとして、子どもたちも参加できるワークショップを開催した。 ・ 「アルスこども創造プロジェクト」では、地域の子どもたちが出演する音楽劇の制作を行う事業で、津市を拠点に活動するプロの演出家の鳴海康平氏を中心とした専門家の指導のもと、練習から公演本番に至るプログラムを実施した。令和7年度は前年度よりも4名増の36名が参加いており、年々参加者を増やしている。 ・「アルス・スーパーブラス」では、公募により高校生からシニア世代まで多様なメンバーでブラスバンドを結成し、キックオフコンサートでは、市内中学校吹奏楽部や地域合唱団と共演する等、市民を中心に様々な人々の参加・参画機会を創出している。 ・「アルス企画支援プロジェクト」では、計2団体への企画支援を行った。生きづらさを感じている人たちの居場所として運営しているコミュニティハウスの利用者が中心となって結成した劇団による公演、津市拠点の合唱団が一般公募で集まった人々と一緒に行う音楽コンサートと、いずれも幅広く市民の参画機会が創出される企画となった。 ・要求水準書要求回数年2本以上に対して、 当初予定どおり4事業を実施した。	◎

評価は◎非常に良い、〇良い、△やや悪い、×悪いの4段階です

区分	評価項目	検証結果	評価結果
	鑑賞事業（多くの市民等が優れた実演芸術に触れられるよう、様々なジャンルにおいて、芸術的・学術的な内容や娯楽性の高い内容等、多様で質の高い事業が行われているか）	・スガシカオや水曜日のカンパネラといった人気と実力を兼ね備えたアーティストの公演、国宝の高田本山専修時の境内で伝統芸能の能を行う「津市民薪能」、子どもたちに人気の美術の番組「びじゅチューン！コンサート」、関西の主要プロオーケストラの大阪交響楽団を招いたコンサート等、芸術性・娯楽性の両面において多様で質の高い事業が実施された。 ・ポップス、クラシック、能、落語等、様々なジャンルの公演が行われた。 ・要求水準書要求回数年5本以上に対して、当初予定どおり7事業を実施した。	◎
	普及育成事業（市民や次世代を担う子どもへの文化芸術の普及と人材育成の推進につながる事業が実施されているか）	・文化芸術に関わる人材育成等を目的とした事業として、プロから直接学べる「大阪交響楽団による吹奏楽クリニック」やプロ太鼓奏者から1年間じっくり指導を受けた後舞台発表を行う「ハットリヒロシ和太鼓塾」等が行われた。 ・日頃実演芸術に触れる機会のない子どもたちが気軽に文化芸術に触れることができる機会を提供するため、プロアーティストが小学校を訪問して演奏等を行う「学校アウトリーチ」等が行われた。 ・子どもの年代に応じて楽しめるよう段階的なプログラムとして様々な子ども向けの公演等が行われた。また、子どもだけではなく、親子が一緒に楽しめることをコンセプトにしたプログラムとして新たに企画された「親が楽しむ！ゴスペル教室」では、親子が一緒になって練習や舞台での発表を行った。 ・「アルスアートスクール DOORS」では、ダンスレッスン、リーディング劇体験、舞台技術講座等、子どもから高齢者まで誰でも参加できる多様なジャンルの講座が行われた。 ・要求水準書でa～eの項目ごとに定められた要求回数を全て満たす回数の事業を実施した。（要求水準回数全9事業に対して12事業）	◎
	協働事業（久居駅周辺地区をはじめとする地域の再生・活性化に向けて、地域住民・団体・アーティスト・施設等との連携・協働による事業が実施されているか）	・周辺地域への周遊を促進する事業として、久居地域の活動団体「久居げんき会」との協働による恒例のマルシェイベント「アート＆マルシェ」を開催した。周遊促進策として、出店店舗の紹介カードを来場者へ配付する取組も行われた。また、地域の魅力の再発見を目的としてプロの写真家と一緒に久居地域周辺を散策して撮影を行う「歩く。見る。撮る。」を行った。 ・市民等の参加・協働の仕組みが取り入れられた事業として、施設の運営を支える人材育成を目的とした市民ボランティア養成講座を開催した。 ・地域の郷土文化・歴史の再発見及び地域との連携につながる新たな事業として、「津の郷土文化リサーチプロジェクト久居八幡宮宝物展」を行った。調査・資料収集から展示までを一体的に実施して、地域の文化資源の発掘と情報発信を実現した。 ・津市の新たな文化の風物詩を創出することを目的として、津市をはじめ県内に点在する古書店が一同に会して古本市や関連企画を行う「ホンツヅキ三重」を実施した。 ・要求水準書でa～fの項目ごとに定められた要求回数を全て満たす回数の事業を実施した。（要求水準回数全7事業に対して11事業）	◎

評価は◎非常に良い、〇良い、△やや悪い、×悪いの4段階です

区分	評価項目	検証結果	評価結果
	国内、国際交流事業（多文化交流、地域コミュニティの強化、社会的マイノリティの支援等を目的とした文化芸術等を活かした事業が実施されているか）	・多文化交流、社会的マイノリティの支援等の観点を含んだ社会包摂プログラムとして「やさしい日本語落語」「ラストラーダカンパニー『サーカスの灯』」「きらめき・アート展覧会」を行った。特に「やさしい日本語落語」については、海外にルーツを持つ人々が日本の伝統芸能をわかりやすく学び楽しむことができる場を提供することを目的に新たに企画され、実際に海外にルーツを持つ家族や若者の来場が多く見られた。 ・主に地域コミュニティの強化を目的として、地域の団体等と連携して実施する「夏休み！こども広場」や、商店街の店舗や人々を紹介する冊子を制作する「久居商店街えがお手帳制作プロジェクト」等を実施した。 ・要求水準書要求回数年3本以上に対して、当初予定どおり5事業を実施した。	◎
	地域文化ホール活用事業（津市の各地域の文化ホールを活用して、文化芸術の振興や地域活性化につながる事業が実施されているか）	・市内の各文化ホールを会場として、地元出身の三味線及び和太鼓奏者によるコンサートのほか、クラシックコンサート、演劇等の多種多様な実演芸術の公演を安価な価格で提供を行った。 ・企画に当たって、事前に地域や施設のリサーチを行い、それぞれの特性を踏まえて事業の企画を実施した。 ・企画に当たって、地域との協議により、地元出身の楽器奏者や歌手、地域で活動している合唱団等の出演を実現させている。 ・要求水準における実施内容以外に、指定管理者による提案において、施設の特性を活かした企画等の追加実施が挙げられており、ホール公演に加えて、地域の団体等と協働してワークショップやマルシェ等を開催し、体験や交流の場を創出している。 ただし、これらの追加企画について、提案された回数（年4回）の開催実績には至らなかった。（令和7年度は、白山総合文化センターでのマルシェ、美里文化センターでの美里まつりの併催が企画・実施された。） ・要求水準書要求回数年9本以上に対して、当初予定どおり9事業を実施した。	〇
	企画提案事業全般（企画提案事業全般について、要求水準書に基づいた取組が行われているか）	・事業の企画・実施に当たって、事業計画提出段階だけではなく、随時、市と協議・相談を行い、必要に応じて内容を変更しながら事業を進めた。 ・継続的・定例的に実施する事業を中心に、開催日程を平日に設定する等、市民等の貸館利用機会の確保に配慮が行われた。 ・鑑賞事業の「水曜日のカンパネラプレミアムライブ」において、津市民先行販売が実施されたほか、複数の事業で友の会会員の先行販売や割引、年齢等に応じた廉価な料金設定等が行われた。 ・受託事業に位置付けられる津市美術展覧会や津市民文化祭の実施に係る支援・協力が行われた。また、令和7年度から、国の交付金（地域未来交付金）を活用して市が実施している「みんなで使おう文化ホールプロジェクト」についても、企画面での助言等の関わりを持っている。	〇
雇用・労働条件について	津市における雇用創出に寄与するものとなっているか	雇用状況について、市内在住者を中心とした雇用に努めている。	〇
	適切な労働環境は確保されているか	労働関係法令の遵守、法定保険への加入を行う等、適切な労働環境を確保している。	◎

評価は◎非常に良い、〇良い、△やや悪い、×悪いの4段階です

区分	評価項目	検証結果	評価結果
収支状況について	収入増加のための取組が積極的に行われているか	・財源確保に向けて、各種の補助金や協賛の獲得の取組を行い成果をあげている。 ・貸館利用者に向けてホール主催者パックの提供、看板製作サービス、弁当手配サービス等のサービスを実施する等、利用促進策に継続して取り組んでいる。 ・企画提案事業の収入確保に向けて、多様な媒体による周知、販売チャネルの充実、事業ごとの独自の周知策の展開等、販売促進に取り組んでいる。 ・上記の取組に加えて、キッズルームの設置やWi-Fi環境の拡充等、利用者等の要望を踏まえた改善の取組を行う等、施設全般の魅力や利便性を向上させることによる利用促進に努めている。	◎
	効率的かつ効果的に支出が執行されているか	・利用者サービスの水準と安全性を確保するため、光熱水費や事務費等の管理的経費を中心とした経費削減の取組を行っている。 ・要求水準及び年度事業計画に基づき、毎月の収支状況を適切に管理しながら業務を実施している。 ・令和7年度における「事業費に占める地元への発注額の割合」は、指定管理者の提案時の目標数値と比べてやや低い実績値となったが、大きく乖離はしていない状況である。（主な原因は、光熱水費削減のための電力会社の変更によるもの）	〇

【総合評価】　※適正な管理運営を行ってきたかを記入する

管理状況に関しては、個人情報保護に係る体制構築や対策の積極的な実施や、施設・備品等の維持管理に係る利用者の要望等を踏まえた備品の調達や修繕の実施について、特に優れた取組を行っているものとして評価した。なお、緊急時等に備えた危機管理対応に係る取組について、各種緊急時対応マニュアルの整備、消防防災訓練や消防法に基づく各種点検の実施等、体制や管理面は適切な取組が行われていたが、当該点検結果の管轄消防署への提出が行われていない状況（現在は提出済み）があったことから、手続き面の一部について改善を求める内容として評価した。

運営状況に関しては、年間の施設利用者数、来館者数、貸館施設全体の利用率のいずれも、要求水準の目標を上回る達成状況となったほか、利用者満足度向上に向けた取組（キッズスペースの設置、一部事業における託児サービス等）、地域との交流・連携の取組（地元の商店街店舗や久居八幡宮と連携・協力した事業の実施等）、SNS等の効果的なツールを活かした積極的な広報展開、カフェの運営における賑わいづくりの場としての積極的な活用等を特に優れた取組として評価した。

自主事業（企画提案事業）に関しては、いずれの事業区分においても要求水準書の要求回数を満たす数の事業が実施された。「創造事業」については、市民が気軽に参加・参画できる機会の創出、「普及育成事業」については、親子や子どもが気軽に楽しめる様々なプログラムの実施、「国内、国際交流事業」については、文化芸術を活かした多文化交流を目的とした事業の展開といった観点で、特に優れた取組を行っているものとして評価した。

収支状況については、補助金や協賛の獲得をはじめ、財源の確保に向けた積極的な取組を行い成果をあげていることを特に優れた取組を行っているものとして評価した。

【指定管理者に対して行った指導助言の内容・今後の業務改善（向上）に向けた考え方】

改善等を要すると評価した項目・内容について、指定管理者に対して指導を行うとともに、今後の改善方針について回答報告を求める。